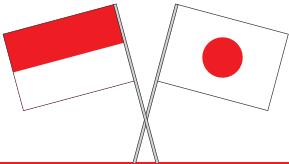


広島インドネシア協会 会報



第32号
2022年3月発行

編集・発行
広島インドネシア協会
広島ガス株 環境・社会貢献部 内
〒734-8555 広島市南区皆実町二丁目7-1
TEL(082)252-3154

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「理事会・総会」は交流会を中止して書面決議、「独立記念祭」や「講演会」などのイベントは中止または延期となり、活動の大幅な縮小や変更を余儀なくされました。

こうした状況の中、インドネシアの方々からのメッセージ配信や、「ワルン マタハリお食事券 抽選企画」など、コロナ禍でもできることとして新たな取り組みを行いました。また、縮小となった事業の予算相当額を、コロナ禍で支援を必要とするインドネシアの方々へ寄付するなど、広島とインドネシアとの友好促進に向けてできる限りの活動を実施しました。



理事会・総会(書面決議)

2021年6月

理事会・総会は書面決議とし、第1号議案(2020年度事業報告・収支報告)、第2号議案(2021年度予算案・事業計画案)、第3号議案(協会役員案)などが過半数の賛成をもって可決されました。



オンライン配信とテヌンルーリック製ポーチの進呈

2021年11月10日(水)

コロナ禍のため総会や独立記念祭の開催が叶いませんでしたが、こうした状況に負けることなく、広島とインドネシアの友好促進のために、また、インドネシアへの支援と会員様への感謝の気持ちも込め、お寄せいただいたメッセージなどをオンライン配信し、インドネシア雑貨を会員の皆さんにお送りしました。オンライン配信では、「コロナに負けない!広島とインドネシアの友好促進」をテーマとし、駐日インドネシア共和国大使ヘリ・アフマディ様、在大阪インドネシア総領事ディアナ・エミラ・サリー・スティクノ様、田村会長、在インドネシア広島大学卒業生の方々からのメッセージをはじめ、留学生による舞踊、インドネシアの祝祭料理「ナシ・トゥンパン」、インドネシアの相互扶助の慣習「ゴトン・ロヨン」、11月10日「英雄の日」などをご紹介しました。

また、インドネシアの伝統文化保護活動を行う広島経済大学興動館「インドネシア国際貢献プロジェクト」を通じて購入した、インドネシアの伝統的な織物テヌンルーリック製のポーチを、会員の皆さんにお届けしました。



オンライン配信は
こちら



ヘリ・アフマディ大使



ディアナ・スティクノ総領事



田村会長



在インドネシアの広島大学卒業生



インドネシア留学生による舞踊



インドネシアの祝祭料理「ナシ・トゥンパン」



広島経済大学「インドネシア国際貢献プロジェクト」からテヌンルーリック製のポーチ



インドネシア文化に親しむ会

2021年6月24日(木)～27日(日)

広島市映像文化ライブラリー様との共催で、当協会会員の皆さまや一般の方を対象に「インドネシア映画特集」を開催しました。

6日間で日替わり6本のインドネシア映画を上映する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて4日間に変更となり、「マルリナの明日」「ザ・レイドGOKUDO」(日本語字幕付)など4本を上映し、239名(うち当協会会員16名)の方々に鑑賞していただきました。

ご参加いただいた会員様からは、「今は外国に行くことがなかなかできないが、映画を見てインドネシアの雰囲気を楽しむことができた」「日本人俳優がインドネシア映画で活躍されていることを知って、驚いた」といったご感想をいただきました。

コロナ禍においてもインドネシア文化をお楽しみいただける貴重な機会となりました。



広島インドネシア協会の受付



インドネシア映画特集のチラシ



インドネシア料理を楽しむお食事券 抽選企画

2022年1月～5月

「インドネシア料理を楽しむ会」は、コロナ禍のため例年開催している会食を中止し、インドネシア料理専門店「ワルン マタハリ」の料理を会員様が個別にお楽しみいただけるよう、また、「ワルン マタハリ」への支援の気持ちも込め、店内飲食やテイクアウトでご利用いただける「ワルン マタハリお食事券 抽選企画」を実施しました。

46名の会員様からお申込みましたが、お食事券ご利用期間中(1月中旬～2月末日)は、まん延防止等重点措置の適用期間延長のためテイクアウトのみで店内飲食をお楽しみいただくことが叶わず、ご利用期間を5月8日(日)まで延長しました。

感染状況が改善され、会員の皆さまと「ワルン マタハリ」で一緒に集える日を心から願っています。



「ワルンマタハリ」
テイクアウトメニューの一例



インドネシア料理を楽しむワルン マタハリお食事券



在広島インドネシア留学生会(PPIH)と 広島インドネシア家族会(HIFF)に支援金を寄付

2022年3月11日(金)

新型コロナウイルス感染症拡大の現況から、昨年に引き続き生活に大きな影響を受けておられる広島のインドネシア留学生(特に私費留学生)や、インドネシアで学生等への支援活動を行う広島インドネシア家族会を支援するため、広島インドネシア協会は理事会の書面決議を経て、縮小となった事業の予算相当額から、在広島インドネシア留学生会(PPIH)に100万円、広島インドネシア家族会(HIFF)に70万円を寄付いたしました。

寄付にあたり、広島ガス株式会社において、田村会長からPPIH会長のアドリアニ様とHIFF代表のイワヤン様に、寄付金目録を贈呈し、両団体から感謝の言葉をいただきました。

会員の皆さまのご理解・ご支援に改めて深く感謝申し上げますとともに、これからも広島とインドネシアとの交流促進に寄与してまいります。



(左側から)ウタミ様、アドリアニ様、田村会長、イワヤン様